

老上学区 2024.10.31 現在(対9月比) 人口 12,694人(+32) 世帯数 5,716世帯(+13)

47号



老上まちづくりセンターHP



老上学区  
まちづくり協議会



# わがまち老上だより

ふるさと老上のこころ  
自主(進取の心)協同(連帯性)  
敬愛(人権尊重)

発行 老上学区まちづくり協議会 編集 情報発信委員会  
〒525-0055 草津市野路町520番地(老上まちづくりセンター内)  
TEL・FAX 077-564-1430 E-mail oikami@machikyou.jp

## これから明るい未来へ



新たなスタート



### 第30回 ふれあい老上まつり

10月26日、27日



第30回ふれあい老上まつりは老上小学校体育館とその周辺、JA 駐車場で開催されました。雨の予報が一転して好天に変わり、青空の下大勢の人で賑わいました。

恒例の模擬店や展示物のほかに、小学校体育館では各種団体等の舞台発表が行われました。立命館大学チアリーダー部の応援では大いに盛り上がり、会場にいる全員が学生たちから元気と勇気をもらいました。

(Nishimoto)



おいかめちゃんと  
ジャンケン大会や  
ハロウィンイベント  
も行われました 🎃



舞台発表  
7 団体



展 示  
18 団体



～ふれあい老上まつり にぎやかに～

実行委員、舞台発表者、展示・模擬店スタッフ総勢 360 名でまつり運営を行いました。  
また 2500 名近く(推定)のご来場がありました。

模擬店  
15 団体



# 敬老会 9月15日

老小体育館



9月15日、老上小学校体育館にて敬老会が開催されました。外は真夏のように暑い日でしたが、8月に体育館に新設されたエアコンを稼働し、快適な環境で行われました。

式典のあとは、老上こども園の子どもたちによる発表や「青春歌声シャボン玉」さんによる昭和歌謡のコンサートなど、楽しい催しで参加者を和ませました。

情報発信委員 黒川

新設されたエアコン



# 防災フェス 『生き残れ老上』 9月28日

老小体育館



カルタで学ぶ防災 真剣!

私たちが住む老上エリアにとって必要な防災を、このエリアに住む皆さんと共有できた!ということが、とても嬉しいです。私は、防災について“関心はあるけれど全く無知”な状態で SOS 委員会のメンバーに加えて頂きました。そのため、防災フェスを作り上げる過程の中で、防災のこと、老上地域のことを一つ一つ学ぶことができたと思っています。振り返ってみて『防災活動は自分が住む地域と人を知ることに繋がる』と実感しています。ぜひ多くの方にこの面白さを体験して頂きたいですし、来年開催に向けて、皆さんとブラッシュアップしていくことが、今から楽しみです。

SOS 委員会 畠中 直美

# おいかめちゃん おでかけ 9月29日

草津市コミュニティ事業団設立 40 周年事業「ニコニコがいっぱい! キッズドリーム」に参加するため、ロクハ荘におでかけしてきました。大勢の観客が玉川ウインドオーケストラの演奏や奥井照夫さんの腹話術バルーンアートを楽しんでいました。おいかめちゃんも、たび丸・マッチ・しぶはなちゃんと一緒に、GINLALA さんの歌に合わせて踊り、たくさんのお友達とふれあう時間をもつことができて、嬉しい一日を過ごせました。

おいかめちゃんアクター 福田 篤子

ロクハ荘



# 教えてほしい! 手話ってなあに?

手話と聞いて何を思い浮かべますか?今回は手話通訳者という仕事をされている、田巻さんにお話を聞きました。



手話は聞こえない人(ろう者、中途失聴者)や難聴者の間、もしくは聴者との間で使われる手指の動きだけでなく、表情なども交えた言語のことです。言語ということは、外国語と同じ位置づけで、法律でも明記されています。

講演会などで通訳されているだけでなく、依頼があれば子どもの学校の懇談や会議、病院受診でも通訳者が同行することもあるそうです。

『日本手話』は日本語とは文法体系・語順・語彙が異なります。また手話表現は五十音を手の動きだけです

るのでなく、意味やイメージを捉え表現したりするため、方言のように地方によって違うこともあり、自分の地域で使っていた手話が通じないこともあるのだとか。

聴こえない人が情報を集めるのは難しく、聴き逃がし困っていることも多いと田巻さん。手話を使えなくても周りにいる人が想像力を働かせ、そっと手を差し伸べられる人になりたいと思いました。



老



上

老(高齢者の背中が曲がっている様子を現している)と、上(漢字をかたどった表現)は少し上にスライドする。

情報発信委員 K

## あいさつ運動啓発活動作品 優秀作品の紹介

草津市青少年育成市民会議主催の作品募集に合わせ、老上学区内で集まった作品を選考し、下記の賞を決定しました。(敬称略)

### (小学生の部) 老上小学校

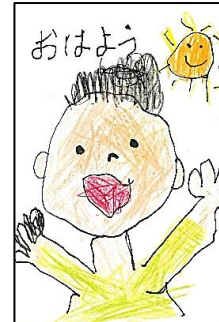
- ☆会長賞 1年 藤田 匠翔 (絵画部門) ※1  
《作品タイトル》えがおであいさつ
- ☆校長賞 6年 平井 翔 (標語部門) ※2  
《作品タイトル》笑顔
- ☆学年賞
 

1年	羽田 有里菜	2年	山本 龍之介
3年	中村 光里	4年	長田 梨瑚
5年	佐藤 匠	6年	澁川 彩

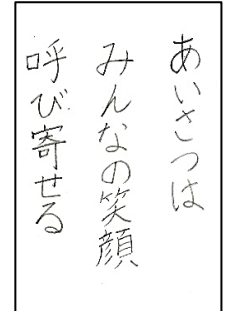
### (中学生の部) 老上中学校

- ☆会長賞 2年 草川 垂衣 (絵画部門) ※3  
《作品タイトル》あいさつ+笑顔
- ☆校長賞 3年 長山 愛 (標語部門) ※4  
《作品タイトル》あいさつで今日も一日健幸で

※1



※2



※3



※4



## 令和 6 年 度 秋 の 表 彰

### ● 市政 70 周年記念表彰

- ・山本 忍 さん(民生委員・児童委員として社会福祉に寄与)
- ・治田 功 さん(保護司として寄与)

### ● 草津市市政功労賞

- ・荒木 博子 さん(町内会長として尽力された功績)
- ・ゆうゆう老上 さん(社会ボランティア団体として尽力)

### ● 草津市青少年育成市民会議顕彰

- ・磯嶋 玲子 さん(青少年育成指導者としての功績)

### ● 草津市少年補導員功労者表彰

- ・田村 道子 さん(8年以上尽力された功績)

おめでとうございます!



# あつまれ☆老上のまち みんなの伝言板



今回は、老上学区の地区防災に協力していただいている4つの事業所をご紹介します。どの事業所も老上学区の一員として、みなさんの暮らしを温かく見守ってくださっています。それぞれどのような活動をしているのかぜひ知っていただき、日ごろから挨拶等でつながれたら安心ですね。

## ★ 老上学区の強〜い味方！ 地区防災計画協力事業所、大募集！！

今年の4月に発効した「老上学区地区防災計画」では、防災に関して協力をお願いしている老上学区内の事業所があります。災害発生時において、あるいは日常の防災に取り組む際の地域における心強い存在です。

計画を作成するにあたって、いち早く4つの事業所が登録を受けていただきましたが、さらに多くの事業所が老上学区防災ネットワークに集まっていただき、学区挙げての安全安心のまちづくりを目指しています。

※以下、事業所ごとに ①事業紹介 ②災害時のご協力内容 ③地域の皆さんへのメッセージ となっています。



### 01 レーク滋賀農業協同組合老上支店

- ① 令和3年4月1日に滋賀県内の旧8JAが合併し「JAレーク滋賀」として誕生しました。
- ② AEDの使用。避難スペース(駐車場)の提供。
- ③ これからも地域と共に組合員、利用者に寄り添い、信頼され、地域社会に貢献し続けるJAを目指します。



### 02 株式会社 熊川工務店

- ① 地域に根付いた工務店です。お住まいのことなら何なりとご相談ください。
- ② 軽トラックの貸し出し
- ③ 各地で災害が起っています。人ごとだと思わずに、日頃から“備えあれば憂いなし”を心掛けたいですね。



### 03 ロマン楽器株式会社

- ① 楽器、音楽教室のことならお任せください。
- ② 災害時への備え・コンサートと合わせて普及啓蒙活動
- ③ 平時の備えが非常に大切。子ども達にも伝えていきたい。

杉江社長(左から2人目)はSOS委員として  
防災フェスにも携わっています！



### 04 草津紙器株式会社

- ① 草津紙器株式会社は昭和46年に南笠の地で創業されました。老上では数少ない半世紀を超える製造業で、段ボールの加工・組み立てをしています。
- ② 段ボールを利用して、避難所を少しでも過ごしやすくするなど、近年の災害で多くの事例が伝えられています。災害発生時には老上学区防災ネットワーク本部に段ボールの提供をいたします。これまでも老上学区まちづくり協議会子ども事業での防災キャンプへ段ボールを提供しました。

# ヤング老上 地域を考え行動



## スクールESDくさつプロジェクト

老上中学校3年生

3年生の国語の授業で学習した「故郷」(作者:魯迅)を通して、私たちが住む「老上」について、どのような町・地域になってほしいのか、そして、そのような町・地域を作るために『今』自分たちにできることは何か?という意見文を生徒たちが作りました。この学習を通して、今の世代だけではなく次世代につなげて考えていける生徒の育成に取り組んでいます。

※ESD(持続可能な開発のための教育)

### 《生徒の意見文から》

#### 子どもがいきいきとした地域に

私が生活する老上学区に、もっといきいきと活動できる子どもたちを増やしていきたい。最近、ボールが使えない公園が多かったり、そもそも外で遊ぶ子どもも減ってしまったりしている。だからこそ、大きくのびのびと使える公園をつくるのが、いきいきとした子どもを育てていくための手段だと思う。

今年8月に私は生徒会として、草津市子どもサミットに参加し、市長にこの意見を伝え、アピールした。直接気持ちを聞いてもらうことができただけでなく、このことがきっかけで実現に近づいていってほしいと思う。活発な子どもが増えれば、老上学区から日本そして世界で活躍できる人が出てくるかもしれない。

#### 入学前からともだちづくり

私は、この学区に小学校入学前の子どもたちの交流の機会を増やしてほしいと思う。なぜなら、私自身が入学前までこの地域に友人がいなかったからである。

私は現在マンションに住んでいて、ここには小さい子がたくさんいる。そこで季節の行事ごとに子どもを集めて、パーティを開くことで、人との交流を生むことができると思う。宣伝は、エレベーターや掲示板などにチラシを作って貼るなどの方法がある。なぜこれが希望の実現につながるのかというと、近辺に住む子なら、将来一緒に学校に入学するだろうから、前からお互いを知っていれば自信を持って学校に行けると思ったからだ。仲の良い友達を持つことが大事だと私は思う。



## 老上まちづくりプロジェクト

老上小学校6年生

社会科の学習で、地域には政治を行う市議会があり、そこに願いをとどけるために、まちづくりセンターが一助を担っていることを知りました。

そこで、日下部センター長より、センターの役割や地域の課題などを聞きました。もっとまちづくりセンターのことを知ってもらうために、様々な活動をしていることを児童自身が体験しています。

そして、まちづくりセンターの庭を整備し、地域や保護者の方を招くような計画をしています。また、かまどベンチを使った体験や古くなったイスの塗装を行いました。



### 《中学校授業を見学》

「老上について意見文を書こう!!」という公開授業を見学しました。活発な意見交換の中、先生が「どうしたらみんなに協力してもらえるのかを考えることも大事」とアドバイスされ、完成した意見文では、具体案もしっかり出されて、地域で活動する一人として、ぜひ協力したいと心を動かされる内容ばかりでした。(H)